
■ スペイン語の歌で発音矯正・リスニング力強化 カンターモス 第5回 ■

こんにちは。宮崎です！

今回の第5回目では、コロンビア人歌手の Carlos Vives（カルロス・ビベス）、そして Sebastián Yatra（セバスティアン・ジャトラ）の Robarte un beso を使ってワークに取り組んでいきましょう。

■ 本講座を实践頂くにあたっての注意事項：

・ 本講座ではスペイン語の歌を中心に扱いますので、出来れば音質の良いスピーカー、ヘッドフォン等を使用頂くことをお勧め致します。

・ 本講座では YouTube 動画を用いて内容を実践して頂きますので、必ずインターネットに接続出来る環境で受講下さい（なお、動画のダウンロードは法律で禁止されていますのでご注意下さい）。

・ 本講座では個人や企業といった第三者が YouTube 上にアップロードしている動画を活用致します。このため、稀に動画が削除・変更されることが

ありますので、予めご了承下さい。

・万一動画が削除されている場合は恐れ入りますが
ご一報頂けますと幸いです。また、殆どのケースで
曲のタイトル（スペイン語）で YouTube を検索すると
別の動画を見つけることが出来ますのでご協力お願い致します。

■ 今回のアーティスト情報

・ Carlos Vives, Sebastian Yatra

・ ジャンル：バジェナート

* Cumbia（クンビア）の影響を受けて出来たコロンビア発祥の音楽

・ 活動時期：Carlos Vives（1978年ー現在） Sebastian Yatra（2016年ー現在）

・ 公式サイト：

Carlos Vives <https://www.carlosvives.com/>

Sebastian Yatra <https://sebastianyatra.com/>

.....

今回取り上げる、Robarte un Beso は、
コロンビア人歌手、Carlos Vives（カルロス・ビベス）と
Sebastián Yatra（セバスティアン・ジャトラ）による

コラボですね。

南米はコラボが多いですね(^^)

この歌は、カルロス・ビベスの 15 枚目の
アルバム、Vives に収録されています。

セバスティアン・ジャトラは、この曲について
「愛にインスピレーションを受けた曲であり、
愛を取り戻したり恋に落ちたり、大切な人に
愛情を伝えるのに遅すぎるなんてことはない」
と発言しています。

この歌はアメリカ大陸諸国でのチャートで
上位にランクインしており、その耳に残る
メロディーとアップビートなエネルギーが
賞賛されています。

2018 年には、アメリカ合衆国で
開催されるラテン・グラミー賞に
ノミネートされました。

■ まずは「曲」を聴いてみよう！

Carlos Vives, Sebastian Yatra — Robarte un Beso

<https://www.youtube.com/watch?v=Mtau4v6foHA>

*音が出ます。注意して下さい。

上記リンクを右クリックし、「新しいタブで開く」または「新しいウィンドウで開く」をクリックすると、テキストを開いたまま、別ページで動画を見ることが出来ます。

まずは数回、歌詞の意味などは分からなくても構わないので、そのまま自然体で歌を聴いてみましょう。

その時、以下の点について注意して聴いてみましょう：

1. 曲を聴いて、どんなイメージを持ったか？

Primera impresión 「第一印象」は大切です😊
あなたがこの曲を聴いて、どんなイメージを抱いたのか、どんな感情になったのか等を意識しながら聴いてみましょう。

2. スペイン語の「音」を意識して聴こう！

日本の歌と比べてどう違うのか？ 特に、スペイン語のリズム、強弱（抑揚）、アクセント等々、気になった点、印象に残った点を覚えておきましょう。

そのような「違い」に気付くことが発音矯正の第一歩となります。

3. スペイン語の「息遣い」や「子音」にも注目しよう！

「音」的な特徴と同様に、歌手の「息遣い」
「子音」に気を付けながら聴いてみましょう。
どこで息を強く吐いているのか、そして「子音」
(a/e/i/o/u といった母音以外の音) で
特徴的なものがないかも、注目してみましょう。

*尚、発音やリスニングに関する詳しい解説は
後程下に記載しますので、そちらを参考にしてみてください。

■ リスニング・ワークにチャレンジ！

では、ここからはリスニング・ワークに
チャレンジです。以下に歌詞を記載しますが、
部分的に空欄にしていますので、その空欄に
どんなスペイン語が当てはまるのか、曲を
聴きながら考えてみましょう。

勿論、現時点でスペルが分からなくても
大丈夫です。分からない時はカタカナで
書いても OK です。また、空欄の部分が
なんと言ってるか分からなくても OK です。
後で分かるようになれば、それで OK です。

しかも、これは勉強ではなく
遊びですから、パズルで遊ぶような感じ
でチャレンジしてみましょう(^^)

今回のリスニングワークでは、最初から
1分26秒までに取り組むこととします。

『Robarte un Beso』

Son muchos años que pasaron sin decir ()

Y en verdad te quiero

Pero encuentro formas de engañar mi corazón

Son muchos años que pasaron sin robarte un beso

()

Y por esa boca, () ser ladrón

No puede ser que no he encontrado todavía las palabras

Y en esa noche ()

No puede ser que en un segundo () en tu mirada

Cuando, por dentro, yo te gritaba

Déjame robarte un beso que me llegue ()

Como un vallenato de esos viejos ()

Sé que sientes mariposas

Yo también sentí sus alas

() que te enamore y tú no te vayas

Déjame robarte un beso que me llegue ()

Como un vallenato de esos viejos ()

Sé que sientes mariposas
Yo también sentí sus alas
() que te enamore y tú no te vayas

.....

■ 歌詞のスク립トを確認しよう！

さて、あなたはどれだけ聞き取ることが
出来たでしょうか？ 以下に、歌詞（全文）を
記載致しますので、答え合わせをしてみましょう。

Son muchos años que pasaron sin decir te quiero
Y en verdad te quiero
Pero encuentro formas de engañar mi corazón

Son muchos años que pasaron sin robarte un beso
Solo quiero un beso
Y por esa boca, no me importa ser ladrón

No puede ser que no he encontrado todavía las palabras
Y en esa noche no dije nada

No puede ser que en un segundo me perdí en tu mirada
Cuando, por dentro, yo te gritaba

Déjame robarte un beso que me llegue hasta el alma
Como un vallenato de esos viejos que nos gustaban

Sé que sientes mariposas
Yo también sentí sus alas
Déjame robarte un beso que te enamore y tú no te vayas

Déjame robarte un beso
Que me llegue hasta el alma
Como un vallenato de esos viejos que nos gustaban

Sé que sientes mariposas
Yo también sentí sus alas
Déjame robarte un beso que te enamore y tú no te vayas

.....

■ 歌詞の和訳と覚えるべき語句・表現！

* 本講座はスペイン語学習が目的ですので、

敢えて芸術的な訳はせず、シンプルな訳とします。また、意識も含まれますのでご了承ください。

また、歌の中で同じ歌詞が出てくる場合がありますが、一度出てきた歌詞の日本語訳と解説は、割愛させていただきます。

Son muchos años que pasaron sin decir te quiero

「あなたを愛していると言わずに何年も過ぎた」

「もう何年もあなたを愛していると言っていない」

son muchos años que pasaron sin～「～せずに何年も過ぎた」

「～」の部分は動詞原型となります。

「愛している」という動詞は amar なんかもありますが、私は個人的には te quiero の方がよく耳にします。

Y en verdad te quiero

「そして、本当にあなたを愛している」

en verdad 「実際に」「本当に」

ちなみに、en verdad es que～なんて言い方もよく使われます。

Pero encuentro formas de engañar mi corazón

「でも、自分の気持ちに嘘をつくようになった」

ここは少し意識しています。

encuentro は、encontrar 「見つける」「会う」の活用ですね。

formas de engañar は直訳すると「騙す方法」ですが、
後ろが mi corazón 「私の心」「私の気持ち」なので、

「自分の気持ちに嘘をつく方法を覚えた」という感じで良いです。
日常会話でも使えそうな表現ですね😊

Son muchos años que pasaron sin robarte un beso

「もうずいぶん長い間あなたにキスをしていない」

robar は「奪う」「盗む」という動詞ですが、
robarte un beso を直訳すると「君からキスを奪う」

つまり「キスをする」ということですね。
ここでは sin robarte un beso なので「キスをせずに」ということですね。

まあ、しかし、「キスを奪う」なんて、
日本人はまず、こんな言い方はしませんよね(^^)

Solo quiero un beso

「ただキスがしたい」

意識というほどではないですが、quiero un beso 「キスが欲しい」
つまり「キスがしたい」ということで良いですよ。

quiero は querer という動詞の活用の1つですが、
「～したい」「～が欲しい」「～が好き」という表現になります。
「～したい」と表現する場合は、「～」の部分は動詞原型となります。

solo～は「ただ～」という感じですね。

Y por esa boca, no me importa ser ladrón

「そして、僕は盗人になったって構わない」

por には「～によって」という、**原因**などを表す役割もあるのです。

por esa boca 「その口によって・その口のせいで」

要するに「あなたにキスをすることで」ということですね。

no me importa は、ネイティブがよく使う表現です。

「(私にとって) どうでもいい」「(私は) 気にしない」というニュアンスの表現です。no me importa ser で「～にあっても構わない」という表現ですね。

例) No me importa ser marvado. 「悪者になったって構わない」

あとは、例えば、si no le importa que lo pregunte だと「もし(あなたに) 差し支えなければ」という感じになります。que の後ろは、動詞の活用は接続法になるんですね😊

No puede ser que no he encontrado todavía las palabras

「まだ言葉が見つからないなんて信じられない」

no puede ser は頻出の表現で「信じられない」という表現です。

ここでは「**no puede ser que～**」なので「～ということが信じられない」「～なはずがない」という感じになります。

no he encontrado は現在完了の表現になっていますが、encontrado は encontrar 「会う」「見つける」の過去分詞ですから、「言葉が見つからないことが信じられない」というふうに解釈すれば良いです。

この講座は文法講座ではないので詳しくは触れませんが、市販の文法書で構わないので、現在完了形について簡単に確認しておきましょう。

Y en esa noche no dije nada

「そしてその夜、私は何も言わなかった」

dije は decir 「言う」という動詞の過去形（点過去）の活用の一つですね。動詞の活用については、お手持ちの辞書で確認しておきましょう。

No puede ser que en un segundo me perdí en tu mirada

「一瞬で、あなたの視線のに釘付けになったことが信じられない」

はい、かなり意識ですね(^ ^)

no puede ser que～は先ほども出てきましたね。

en un segundo 「一瞬で」

perdí は perder という動詞の過去形（点過去）の活用の一つですね。

me pierdo en～で「私は～で道に迷う」

me perdí en～で「私は～で道に迷った」

me perdí en tu mirada

ここは直訳すると「私は、あなたの視線の中で道に迷った」となりますが、ハッキリ言いますと、ここは人の感性によって解釈は多少違うかも知れません。

この場合、歌の流れからして、「あなたにキスがしたい」「好きだ」という流れですから、「あなたの視線に夢中になった」というような感じでいかがでしょう。

Cuando, por dentro, yo te gritaba

「心の中で、私はあなたに叫んだ」

por dentro は「心の中で」「内心では」

cuando は、ここでは「その時」という感じで良いでしょう。

gritaba は gritar 「叫ぶ」という動詞の過去形（線過去）の活用の1つですね。

yo te gritaba なので「私はあなたに叫んだ」ということですね。

Déjame robarte un beso que me llegue hasta el alma

「あなたの心に響くキスをさせてください」

déjame + 動詞原型「私に～させて下さい」という定番表現です。

ここでは、先にも出てきた robarte un beso 「君からキスを奪う⇒キスをする」

なので「私にキスをさせて下さい」ということですね。

que 以降で、前の un beso 「キス」のことを補足説明しています。

me llegue hasta el alma の部分は、me llegue で「近づく」

llegar は「到着する」という意味の動詞ですが、

llegarse、つまり再帰動詞になると「近づく」という表現になり、se の部分は

主語によって変わるわけです。

例えば、me llego 「私は近づく」 te llegas 「君は近づく」

se llega 「(あなたは・彼は・彼女は) 近づく」

この歌では me llegue と、接続法の活用になっていますが、

今の時点では、そんなもの、という程度の認識にしておきましょう。

hasta は「～まで」という終着点を表します。これは、場所的、時間的、どちらでも使います。alma は「魂」「心」ですね。

Como un vallenato de esos viejos que nos gustaban

「私たちが好きだった老人たちのバジェナのように」

como にはいろいろな使い方がありますが、ここでは「**～のように**」という意味で使われています。

vallenato は既に説明しましたが、Cumbia（クンビア）の影響を受けて出来たコロンビア発祥の音楽ですね。

viejo「老人」⇒ 女性形は vieja

また、que ～の構文が出てきましたが、que 以降で前の viejos「老人たち」を補足説明しています。

me gusta で「**私は好き**」ですが、**nos gusta** だと「**私たちは好き**」となります。この歌では nos gustaba と過去形（線過去）になっているので「私たちが好きだった」という感じで良いですね。

Sé que sientes mariposas

「あなたが蝶を感じていることを知っています」

sé は saber「知る・知っている」の活用の1つですね。

saber que～「～だと知っている」という表現はよく使います。

sientes は sentir「感じる」という動詞の tú「君」の活用になります。

mariposa「蝶」

Yo también sentí sus alas

「私も蝶の羽を感じました」

sentí は sentir 「感じる」 の過去形（点過去）の活用の一つです。

この部分の歌詞は、歌ならではの、と言えますね。

要するに「私とあなたは同じことを感じている」「通じ合っている」ということを言っているのです。

Déjame robarte un beso que te enamore y tú no te vayas

「あなたの心を捉え、あなたが離れないキスをさせて下さい」

déjame + 動詞原型「私に～させて下さい」 という定番表現がまた出てきましたね。

que 以降で un beso を細く説明しています。

enamorar という動詞は、

me enamoro 「私は恋をする」 **te enamoras 「君は恋をする」**

se enamora 「（あなたは・彼は・彼女は）恋をする」 という感じですよ。

y tú no te vayas の部分ですが、vayas というのは ir 「行く」という動詞の活用の一つですが、例えば、

me voy 「私は行く」 **te vas 「君は行く」**

se va 「（あなたは・彼は・彼女は）行く」

という表現になります。厳密には、今いる場所から別の場所へ行く、というニュアンスになります。

そして、ここの歌詞でも vayas と接続法活用になっています。

enamore も接続法活用でしたし、前の歌詞では、llegue なんて接続法活用の動詞もありました。

あまり詳しくは触れませんが、願いや願望を表現する時は、動詞が接続法となるのです。ただ、仮に接続法で言わなかったとしても、ネイティブスピーカーには意味は通じるでしょう。

厳密には、間違いではありますが(^ ^)

Déjame robarte un beso que me llegue hasta el alma

「あなたの心に響くキスをさせてください」

Como un vallenato de esos viejos que nos gustaban

「私たちが好きだった老人たちのバジェナのように」

Sé que sientes mariposas

「あなたが蝶を感じていることを知っています」

Yo también sentí sus alas

「私も蝶の羽を感じました」

Déjame robarte un beso que te enamore y tú no te vayas

「あなたの心を捉え、あなたが離れないキスをさせて下さい」

.....

■ 歌詞と発音は、こうだ！

リスニングのワークで既に歌詞を確認していますが、
以下に、歌詞と発音を記載いたしますので、是非、
大きな声で歌ってみてください😊

Son muchos años que pasaron sin decir te quiero

ソン ムチョス アニョス ケ パサロン スイン デスイル テ キエロ

Son の「ン」は弱く、muchos 「ムーチョス」と años 「アーニョス」は伸ばさない、pasaron 「パサーロン」も伸ばさないようにすれば上手く歌えそうですね。

quiero 「キエロ」は「キ」は強く、あとは弱く発音すると良いです。

Y en verdad te quiero

イ エン ベルダ テ キエロ

Y en のところは「イエン」とうい感じにも聞こえますね。

先ほどと違って、ここでは quiero はハッキリと発音されています。

Pero encuentro formas de engañar mi corazón

ペロ エンクエントロ フォルマス デ エンガニャール ミ コラソーン

encuentro の最初の「エン」は弱くです。corazón は日常会話では「コラソン」が良いです。

Son muchos años que pasaron sin robarte un beso

ソン ムチヨス アニヨス ケ パサロン スイン ロバルテ ウン ベソ

Son は殆ど「ソ」ですね。

先ほどジャトラが歌っていた部分とこの部分、かなり早口で歌わないといけませんですね。頑張ってください！(^^)

Solo quiero un beso

ソロ キェロ ン ベソ

un は「ン」にしか聞こえないですね。

Y por esa boca, no me importa ser ladrón

イ ポル エッサ ボカ、ノ メ インポルタ セル ラドロン

この部分も意外と歌うのが難しいですね😊

no me importa の所は「ノ メ インポルタ」、 「イ」を弱くすると歌いやすいです。

No puede ser que no he encontrado todavía las palabras

ノ プエデ セル ケ ノ エンコントラード トダービア ラス
パラーブラス

no he encontrado は「ノ エ エンコントラード」ですが「he=エ」が完全に省略されていますね。

todavía は日常会話では「トダビーア」ですね。

Y en esa noche no dije nada

イ ネサ ノチェ ノ ディヘ ナーダ

Y en esa の部分は、通常だと「イ エン エッサ」「イ エン ネッサ」という感じですよ。

No puede ser que en un segundo me perdí en tu mirada

ノ プエデ セル ケ ン セグンド メ ペルディ エン トウ ビダ

en un は日常会話では「エン ウン」「エン ヌン」ですが、この歌では「ン」と聞こえますよ。

perdí en の部分は「ペルディエン」というふうに、英語のリエゾンチックに発音されていますよ。

Cuando, por dentro, yo te gritaba

クアンド ポル デントロ ジョ テ グリターバ

この部分は全体的に早口で歌わないといけませんが、特に、yo「ジョ」はまともに発音してしまうと、リズムがずれてしまいそうですので、yo「ジョ」は弱く、ですよ。

Déjame robarte un beso que me llegue hasta el alma

デハメ ロバルテエン ベソ ケ メ ジェガスタ アウマ

robar te un beso「ロバルテ ウン ベソ」は「ウ」がかなり弱く発音されていて「ロバルテエン」という感じになっていますよ。

llegue hasta「ジェガ アスタ」は完全に音がくっついて「ジェガスタ」という

感じになっています。

Como un vallenato de esos viejos que nos gustaban

コモ バジエナト デッソス ビエホス ケ ノス グスターバン

この部分では un 「ウン」は省略されていますね。

de esos 「デ エッソス」の所は「デッソス」となっています。

viejos 「ビエホス」は「エ」を弱く発音すると良いです。

Sé que sientes mariposas

セ ケ スィエンテス マリポーサ

ここは、que 「ケ」、そして sientes 「スィエンテス」の「ィエ」の部分は弱く発音すると良いです。

Yo también sentí sus alas

ジョ タビエン センティ スサアラス

también 「タンビエン」の「ン」は殆ど省略されています。

sus alas 「スス アラス」の部分は、まともに発音すると絶対にリズムがずれま
すね(^^) 「スサアラス」という感じがちょうど良いですね。

Déjame robarte un beso que te enamore y tú no te vayas

デハメ ロバルテエン ベソ ケ テ ナモレ トウ ノ テ バジヤス

te enamore 「テ エナモーレ」の部分は te と enamore の e がくっついていま

すね。

y「イ」は完全に省略されています。

Déjame robarte un beso que me llegue hasta el alma

デハメ ロバルテェン ベソ ケ メ ジェガスタ アウマ

llegue hasta el alma は「ジェガスタ ラウマ」という感じに聞こえますね。

Como un vallenato de esos viejos que nos gustaban

コモ バジェナト デッソ ビェホ ケ ノ グターバン

ここでは、de esos の最後の「ス」、viejos の「ス」、nos の「ス」は全部見事に省略されていますね。

Sé que sientes mariposas

セ ケ スィェンテ マリポーサ

sientes の最後の「ス」は省略されています。

Yo también sentí sus alas

ジョ タビェン センティ ス アラス

alas は「ハラス」と聞こえなくもないですね。

Déjame robarte un beso que te enamore y tú no te vayas

デハメ ロバルテェン ベソ ケ テ ナモレ トウ ノ テ バジヤス

.....

はい。
ということで、第5回の講座でした。

早口で歌わないといけない部分もあり、
そこは、なかなか大変だったのでは
ないでしょうか(^^)

今回の歌もそうですが、「s」の音が省略
されやすい傾向にあることが分かりますね。

では、今日はここまで！
お疲れ様でした。

この歌の残りは、次回第6回で
取り組んでいきましょう。